

平成26年5月1日～2日 低気圧・融雪に伴う出水で
矢木沢ダムは防災操作を行いました

防災操作により矢木沢ダムに約5.2万m³を貯留

矢木沢ダム流域では、低気圧による降雨により、5月1日13時頃から2日1時まで総雨量5mm（矢木沢ダム地点）を観測しました。

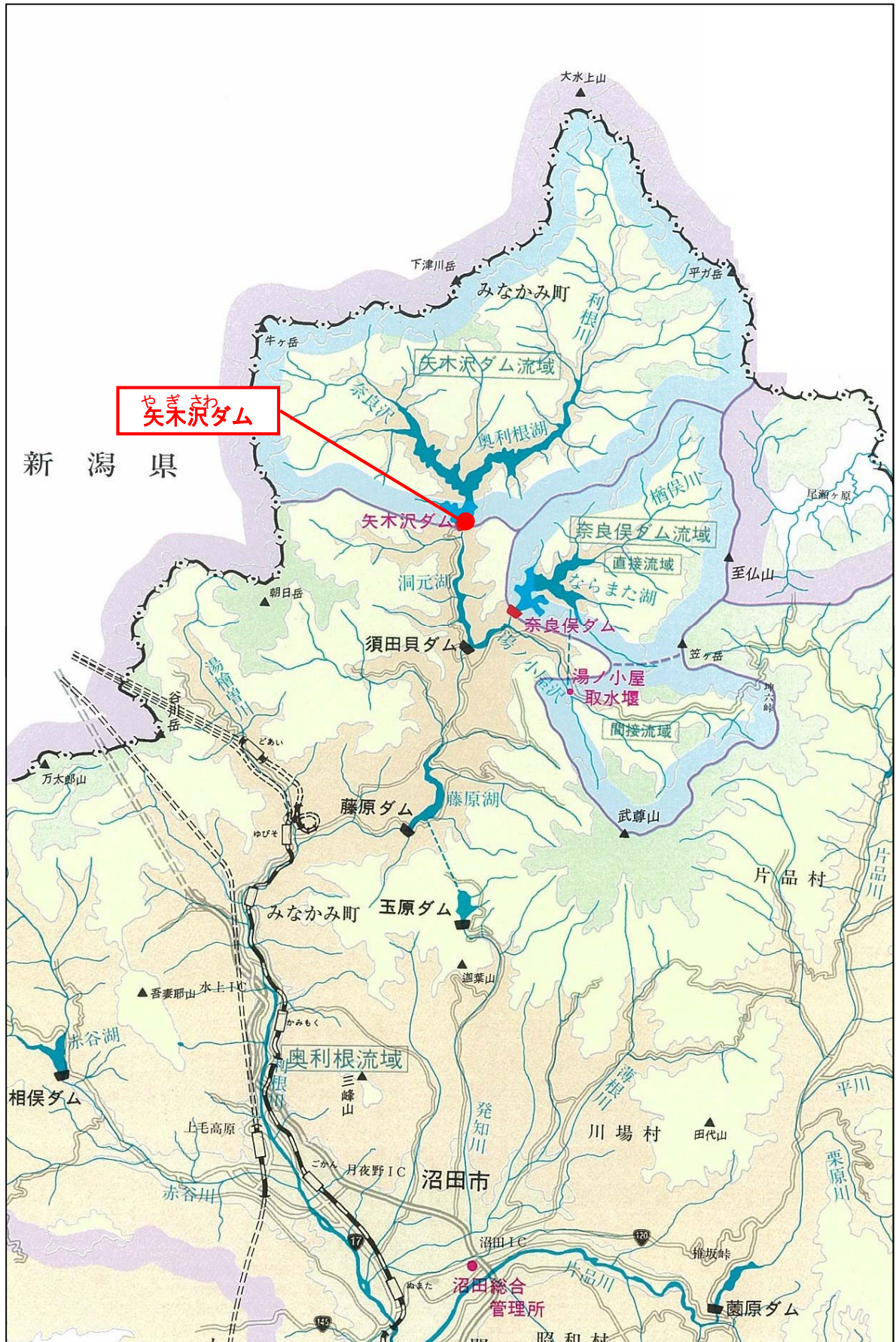
この降雨および融雪によってダムへの流入量が増えたことにより、1日14時40分に流入量が洪水量（最大で毎秒約125立方メートル）に達したため、防災操作を実施しダムに約5.2万立方メートルを貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域への安全性向上に努めていきます。

ぼうさいそうさ
※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図

